

っている高台は、茶かっ色のザラザラした④層の上に、川原に見られるよう
なまらいレキがつもってできていることを理解する。

④ 川畔に沿って地層を追って見る。地層は水平方向に広がりをもってつも
っていることを理解する。

(3) 地層に近づいて、その特徴を観察させる。

④層は塊状で葉理はありません。表面は茶かっ色を帯び粗い砥石の感じがし
ます。この地層は砂が海底につもってできた砂岩層で、2枚貝の化石が入っ
ています。タガネを準備して貝化石の採集をしましょう。

⑤層は梁川高南側から広瀬川畔に下りる写真の細道沿いにも観察されるレキ
層で、5cmから20cm大のまらいレキがつもってできたレキ層です。レキは花こ
う岩や黒白のしま模様のある黒雲母片岩からできています。

④層は中新世の初期、阿武隈山地を島として残して沈降を始めた頃、海底に
つもった中新世下部に相当する地層で梁川層と呼ばれています。

⑤層は段丘性の古いたい積物で、過去の川原につもったレキです。

2、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

八巻石材工場近くの広瀬川

(2) 広瀬川にかかっているかんのん橋
から、川岸や川原のようすや水の流
れ方を観察する。

① 上流に向かって、広瀬川の全景
をスケッチする。

② 川原や、桑畑になっているはん
らん原、川原が水の流れでけずら
れて段状になっているようす、防
岸工事が施されている所など気付
いたことを書き入れる。

③ 砂などがつもっている川原は、
流れの曲がっている内側の岸辺に

